

空間メタボロミクス解析 ～生理活性分子の局在解析～



杉浦 悠毅 先生

京都大学大学院医学研究科附属
がん免疫総合研究センター
マルチオミクス・プラットフォーム 特定准
教授

2025/4/3 THU 16:00-17:00

生理活性分子は、個体の生理機能を緻密に制御するが、その作用部位は必ずしも自明ではない。一例として、低分子神経伝達物質の組織内可視化(どこにあり、どのように変化するか)は困難であり、精神薬開発の障壁となっている。高感度イメージング質量分析は、pg/tissue-mg生理活性分子の局在特定に有効であり、モノアミンやステロイドホルモンの可視化を可能にできた。さらに、三連四重極型質量分析計を用いた新技術により、極微量のプロスタグランジンを高解像度でイメージングすることに成功した。

参加方法

会場：大阪大学・ニコンイメージングセンター（大阪大学医学系研究科 臨床研究棟 L階）
ご所属、お名前を記載の上、register@handai-nic.com宛にご連絡ください。

オンライン：ZOOMにて実施します。下記フォームよりお申込みください。
<https://go.healthcare.nikon.com/1/924973/2025-03-06/2ytk7f>



お問合せ

株式会社ニコンソリューションズ バイオサイエンス営業本部
Email: Nsl-bio.Marketing@nikon.com

オンライン
申込フォーム